

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 13 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

次の計算をしましょう。

(1)  $\frac{5}{9} \times \frac{2}{3}$

1

(2)  $\frac{9}{8} \times \frac{14}{15}$

2

(3)  $2\frac{5}{14} \times 1\frac{1}{6}$

3

(4)  $12 \times \frac{4}{3}$

4

2

0.3の逆数を求めましょう。

5

※次のページにも、問題があります。

3

$\frac{4}{5} \times \frac{1}{3}$  の計算の仕方を、次のように説明しました。

**【説明】**

かける数を整数にして考えました。

まず、かける数を整数にするために、 $\frac{1}{3}$  を 3 倍しました。

$$\frac{1}{3} \times 3 = 1 \text{ なので、}$$

$$\frac{4}{5} \times \left( \frac{1}{3} \times 3 \right) = \frac{4}{5} \text{ となります。}$$

このままでは、積も 3 倍になるので、積を 3 でわって、

$$\frac{4}{5} \div 3 = \frac{4}{15} \text{ となります。}$$

だから、答えは  $\frac{4}{15}$  です。

この説明に合う考え方を、下の **ア** から **エ** までの中から選んで、記号を書きましょう。

**【考え方】**

**ア**

$$\begin{array}{ccc} \frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{4}{5} & & \\ \downarrow \times 3 & & \downarrow \times 3 \\ \frac{4}{5} \times \left( \frac{1}{3} \times 3 \right) = \frac{4}{5} \times 3 & & \end{array}$$

**イ**

$$\begin{array}{ccc} \frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{4}{5} & & \\ \downarrow \times 3 & & \downarrow \times 3 \\ \frac{4}{5} \times \left( \frac{1}{3} \times 3 \right) = \frac{4}{5} \div 3 & \leftarrow & \end{array}$$

**ウ**

$$\begin{array}{ccc} \frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{4}{5} \div 3 & \leftarrow & \\ \downarrow \times 3 & & \downarrow \times 3 \\ \frac{4}{5} \times \left( \frac{1}{3} \times 3 \right) = \frac{4}{5} & \leftarrow & \end{array}$$

**エ**

$$\begin{array}{ccc} \frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{4}{5} \div 3 & \leftarrow & \\ \downarrow \times 3 & & \downarrow \times 3 \\ \frac{4}{5} \times \left( \frac{1}{3} \times 3 \right) = \frac{4}{5} \times 3 & \leftarrow & \end{array}$$

6

※次のページにも、問題があります。

4 1 mの重さが  $\frac{9}{4}$  k g の鉄の棒があります。この鉄の棒  $\frac{14}{3}$  mの重さは何 k g ですか。

7  k g

5 1 辺が  $x$  c m のひし形のまわりの長さは  $y$  c m です。  $x$  と  $y$  の関係を式に表しましょう。

8

6 次の①、②の式に表される場面を下の **ア** から **エ** までの中から選んで、記号を書きましょう。

①  $32 - x = y$

9

②  $32 \div x = y$

10

- ア**  $x$  ページの本があります。32 ページ読んだときの残りは  $y$  ページです。
- イ** 面積が  $32 \text{ cm}^2$  の平行四辺形があります。底辺が  $x$  c m のとき、高さは  $y$  c m です。
- ウ**  $x$  個のあめを32人で等分したら、一人分は  $y$  個でした。
- エ** 学級の合計は32人です。男子が  $x$  人のとき、女子は  $y$  人です。

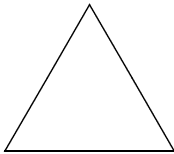
※次のページにも、問題があります。

7

次の問題に答えましょう。

(1) 下の1から4までの中から、<sup>せんたいしょう</sup>線対称でもあり、<sup>てんたいしょう</sup>点対称でもある図形をすべて選んで、その番号を書きましょう。

1



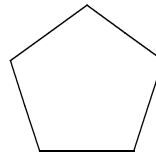
正三角形

2



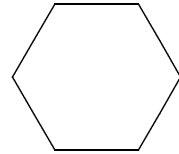
長方形

3



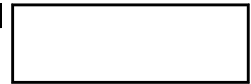
正五角形

4

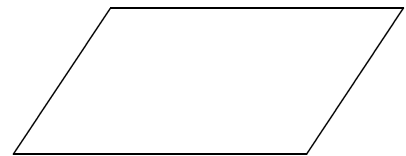


正六角形

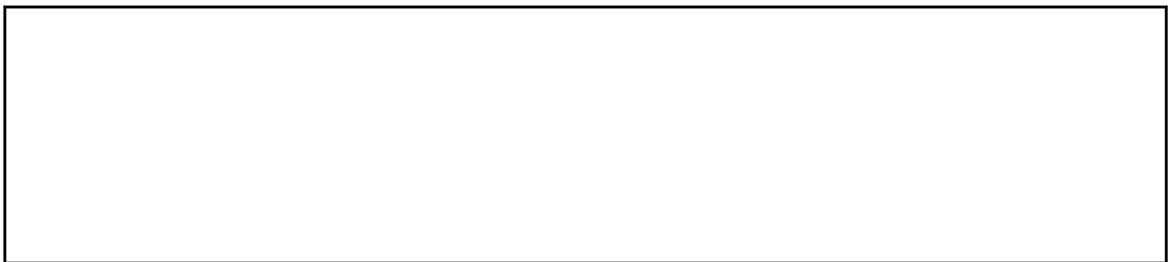
11



(2) 右の図形は<sup>てんたいしょう</sup>点対称な図形です。  
<sup>たいしょう</sup>対称の中心のを見つけ方を説明しましょう。



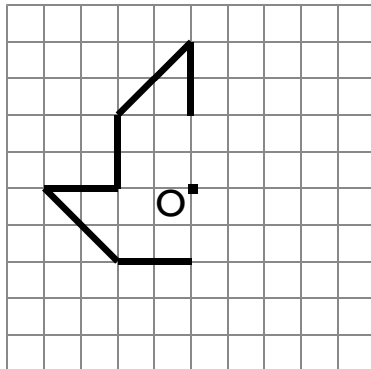
12



8

下の図は、点○を<sup>たいしょう</sup>対称の中心とした<sup>てんたいしょう</sup>点対称な図形の半分です。残りの半分をかきましょう。

13



〔算数〕小6 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 13 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

$$(1) \frac{5}{9} \times \frac{2}{3} = \frac{5 \times 2}{9 \times 3} = \frac{10}{27}$$

1  $\frac{10}{27}$

$$(2) \frac{9}{8} \times \frac{14}{15} = \frac{\overset{3}{\cancel{9}} \times \overset{7}{\cancel{14}}}{\underset{4}{\cancel{8}} \times \underset{5}{\cancel{15}}} = \frac{21}{20}$$

計算の途中で約分できるときは、約分してから計算します。

2  $\frac{21}{20} \left[ 1 \frac{1}{20} \right]$

$$(3) 2 \frac{5}{14} \times 1 \frac{1}{6} = \frac{\overset{11}{\cancel{3}} \overset{1}{\cancel{3}} \times \overset{1}{\cancel{7}}}{\underset{2}{\cancel{14}} \times \underset{2}{\cancel{6}}} = \frac{11}{4} \left[ 2 \frac{3}{4} \right]$$

帯分数は仮分数に直してから計算します。

3  $\frac{11}{4} \left[ 2 \frac{3}{4} \right]$

$$(4) 12 \times \frac{4}{3} = \frac{\overset{4}{\cancel{12}} \times 4}{1 \times \underset{1}{\cancel{3}}} = 16$$

4 16

2

0. 3 を分数に直し、分母と分子を入れかえます。

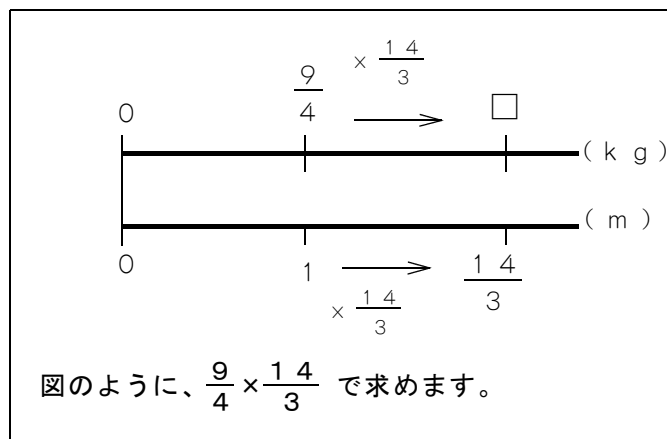
5  $\frac{10}{3} \left[ 3 \frac{1}{3} \right]$

3

6 ウ

4

7  $\frac{21}{2} \left[ 10 \frac{1}{2} \right] \text{ kg}$



5

8

$$x \times 4 = y$$

$$(4 \times x = y)$$

6

① 9

工

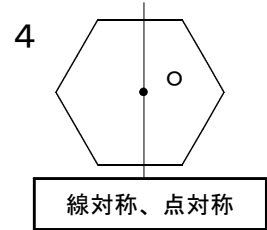
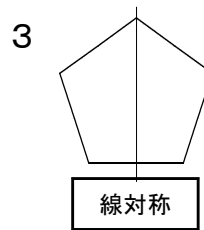
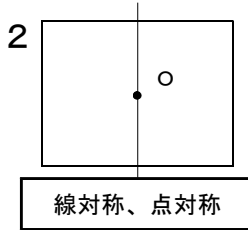
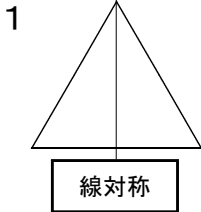
② 10

イ

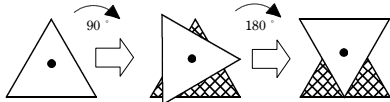
ーや÷の意味から、式が何を表しているのかを考えます。

7

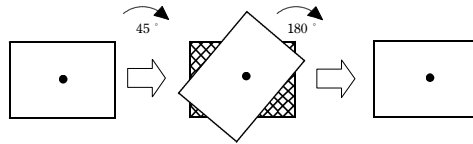
(1)



1つの点を中心にして180°回転させたとき、もとの図形とぴったり重なる図形を、点対称な図形といいます。



※正三角形を1つの点を中心にして180°回転させると、もとの図形とはぴったり重なりません。正三角形は点対称な図形ではありません。



※長方形を1つの点を中心にして180°回転させると、もとの図形とぴったり重なります。長方形は点対称な図形です。

11

2、4

(2)

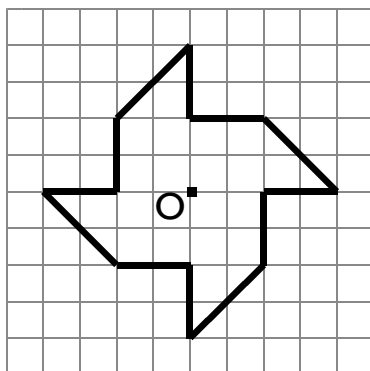
12 (例)

点対称な図形では、対応する2つの点を結ぶ直線は、対称の中心を通ります。まず、対角線を引きます。2本の対角線が交わったところが対称の中心です。

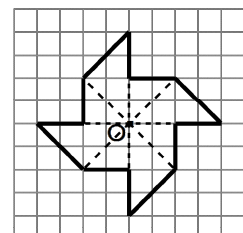
対角線を結ぶと交わったところが対称の中心になるなど、見つけ方が書いてあれば正解です。

8

13



点対称な図形では、対称の中心から、対応する2つの点までの長さは等しいので、その性質を使ってかきます。



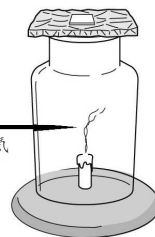
★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

みなみさんとゆうすけさんは、物が燃えるときのしくみについて調べています。右の図のように、火が消えるまでろうそくを燃やした集気びんの中に、火のついたろうそくをもう一度入れたところ、火はすぐに消えてしまいました。

図

ろうそくが燃えた後の空気



先生

ろうそくを燃やした後の空気は、燃やす前の空気と、ちがいはあるのだろうか。

【みなみさんの予想】

ろうそくを燃やすと酸素は全部なくなると思うよ。



みなみさん



ゆうすけさん

【ゆうすけさんの予想】

物を燃やした後は、二酸化炭素が増えると思うよ。

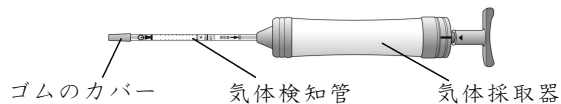
みなみさんとゆうすけさんは、自分たちの予想が正しいかどうかを調べるために、次の実験を行い、結果を表に整理しました。

問題

物が燃える前と物が燃えた後とで、空気は、どのように変わるのだろうか。

【実験】

ろうそくを燃やす前と燃やした後の空気にふくまれる酸素と二酸化炭素の割合を気体検知管で調べる。



【結果】

	酸素	二酸化炭素
燃やす前	約21%	約0.04%
燃やした後	約17%	約3%

(1) みなみさんは、酸素用気体検知管に酸素をとりこむ際、酸素用気体検知管に直接さわらないように気をつけながら、実験を行いました。そのわけを書きましょう。

1

(2) 実験結果から、みなみさんは自分の予想がちがっていることに気づきました。どんなことに気づいたか、書きましょう。

2

(3) みなみさんとゆうすけさんは、実験結果からわかったことをまとめました。

ア

と

イ

に当てはまる言葉を書きましょう。

<まとめ>

ろうそくを燃やした後の空気は、燃やす前と比べて、ア の一部が使われて減り、イが増える。

3

ア

イ

(完全解答)

※次のページにも、問題があります。

2

けいとさんとかなさんは、ご飯をよくかんでいるとあまく感じることに気づきました。



けいとさん

ご飯を口の中に入れてかんでいると、だ液が出てきたよ。ご飯があまく感じるのは、だ液が関係しているのかな。

だ液によって、ご飯にふくまれているでんぷんがあまいものになると思う。



かなさん

けいとさんとかなさんは、自分の予想が正しいかどうかを調べるために、次の実験を行い、結果を表に整理しました。

**問題** でんぷんは、口の中で、どのように変化するのだろうか。

**【実験】**

- ① ご飯つぶを湯にもみ出し、2本の試験管に入れる。
- ② 2本の試験管のうち、一方だけにだ液を加える。
- ③ 2本の試験管を40℃の湯に入れ、10分ほど温める。
- ④ ヨウ素液を2本の試験管の中に数てき入れ、色の変化を見る。

**【結果】**

	だ液を加えたもの	だ液を加えないもの
ヨウ素液を入れたときの色の変化	変わらなかった	青むらさき色に変わった

(1) この実験結果からわかることを次のアからエまでの中から1つ選び、その記号を書きましょう。

ア でんぷんは、湯にもみ出したことによって、別の物に変化した。

イ でんぷんは、だ液のはたらきによって、別の物に変化した。

ウ でんぷんは、40℃の湯で温めたことによって、別の物に変化した。

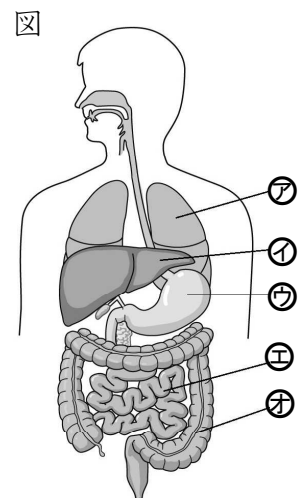
エ でんぷんは、ヨウ素液を入れたことによって、別の物に変化した。

4

(2) けいとさんとかなさんは、図書館で、食べ物にふくまれていた養分がどのように体内にとり入れられるのかを調べ、まとめました。 **A** と **B** に当てはまる体の部分を右の図の㉠から㉣までの中からそれぞれ選び、名前を書きましょう。

・食べ物にふくまれていた養分は、 **A** から吸収される。

・吸収された養分は、血液の中に入り、 **B** にたくわえられたり、体の各部分で生きていくために使われたりする。



5

<b>A</b>	記号		名前	(完全解答)
----------	----	--	----	--------

6

<b>B</b>	記号		名前	(完全解答)
----------	----	--	----	--------



★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

正答

1

(1) <sup>1</sup> 気体検知管が、熱くなるから。

酸素用気体検知管は、気体を取りこむと、熱くなるので、冷めるまで直接さわってはいけません。



(2) <sup>2</sup> ろうそくを燃やしても、酸素は全部なくならないこと。

普段から、実験結果と自分の予想を比べてみるのが大切だね。



(3) <sup>3</sup>

ア	酸素	イ	二酸化炭素
---	----	---	-------

(完全解答)

2

(1) <sup>4</sup>

イ
---

だ液のはたらきを調べるために、他の条件は同じにしているね。



(2) <sup>5</sup>

A	記号	Ⓘ	名前	小腸
---	----	---	----	----

 (完全解答)

<sup>6</sup>

B	記号	Ⓙ	名前	かん臓 <small style="font-size: small;">ぞう</small>
---	----	---	----	---

 (完全解答)

消化と吸収のはたらきについて説明できるようにしよう。



★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

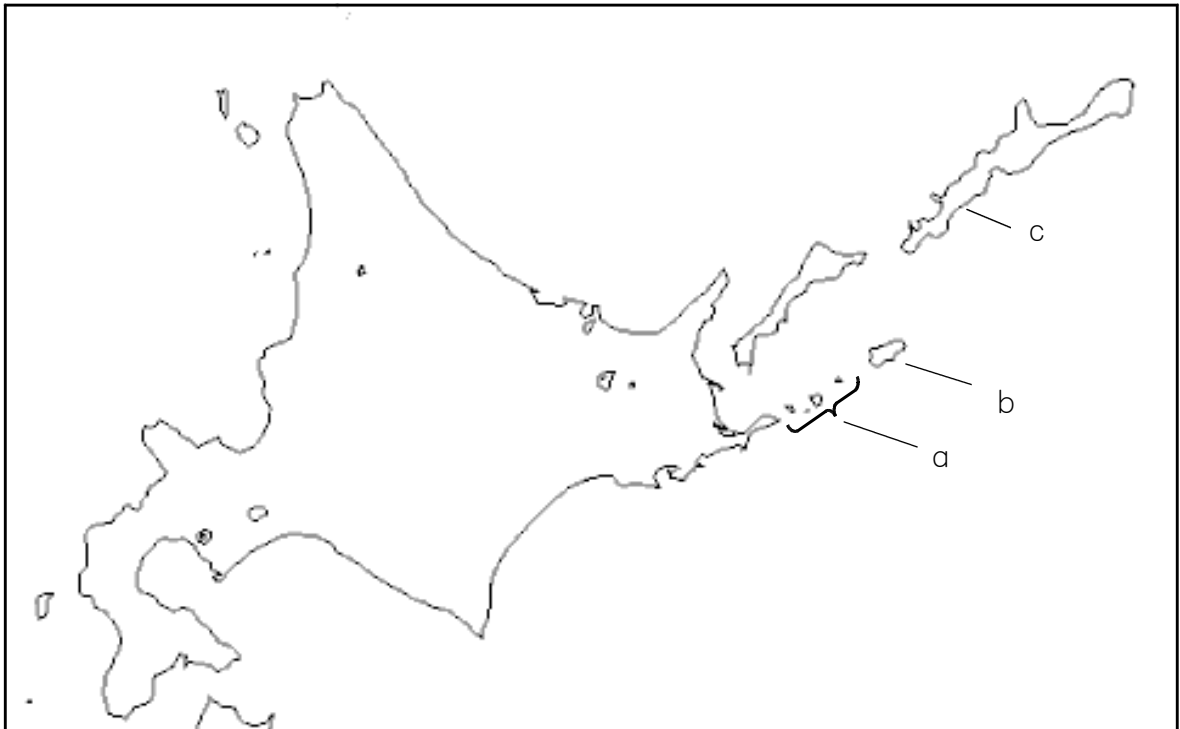
1

次の a から d のそれぞれに当てはまることばを書きましょう。なお、文中の a から c は、略地図中の a から c のことです。

わが国固有の領土である a 群島、 b 島、国後島、 c 島の島々を d といいます。

わが国の政府は、ロシア連邦政府に対して d の返還を求めています。

〔略地図〕



a

b

c

d

※次のページにも、問題があります。

2

次の問題に答えましょう。

〔略地図〕



(1) 略地図中のXとYの県の名前を書きましょう。

X  県

Y  県

(2) 次の県は、どこに位置していますか。略地図中のアからエまでの中から選んで記号で書きましょう。

岐阜県

※次のページにも、問題があります。

3

かんたさんたちは、縄文時代じょうもんと弥生時代やよいの生活の様子や使われていた道具についてノートに整理し、気がついたことを話し合っています。

＜生活の様子や使われていた道具について整理したノート＞

時代	生活の様子	使われていた道具
縄文時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たて穴住居<small>あな</small>に住んでいた。</li> <li>・ 狩りや漁<small>か</small>をしたり、木の実などを採集したりしていた。</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表面<small>なわ</small>に縄目の文様<small>もんよう</small>がある縄文土器</li> <li>・ 骨や石や木を使って作ったつり針<small>はり</small>や矢じり</li> <li>・</li> </ul>
弥生時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米をつくって食べていた。</li> <li>・ 高床<small>たかゆか</small>の倉庫に米をたくわえていた。</li> <li>・ 狩りや漁などもしていた。</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ うすくてかたい弥生土器</li> <li>・ 木のくわや石包丁<small>いしぼうちよう</small></li> <li>・ 大陸から伝わった青銅器<small>せいどう</small>や鉄器</li> <li>・ 骨や石や木を使って作ったつり針や矢じり</li> <li>・</li> </ul>



かんたさん

それぞれの時代の生活の様子と使われていた道具には、関係があるみたいだね。

縄文時代は、つり針や矢じりを使って、狩りや漁をしていたみたいだね。



ゆうこさん

かんたさんやゆうこさんの意見を参考にして、弥生時代の生活の様子と使われていた道具の関係について、「米づくり」という言葉を使って説明しましょう。

8

※次のページにも、問題があります。

4

ゆうたさんは、<sup>しやうとくとたいし</sup>聖徳太子について、様々な資料をもとに調べたことなどを新聞にまとめることにしました。次の問題に答えましょう。

ゆうたさんは、新聞の中の記事の一つに、「<sup>しやうとくとたいし</sup>聖徳太子にインタビュー！」と見出しを付け、<sup>しやうとくとたいし</sup>聖徳太子になりきって質問に答えることで、調べたことを読者に伝えることにしました。次の a、b に当てはまる言葉を書きましょう。

### 「聖徳太子にインタビュー！」～私はこんな国をつくりたかった！～

インタビュアー：聖徳太子さん、こんにちは。今日は、あなたが進めた国づくりについて、聞かせてください。

聖徳太子：いいですよ。何でも聞いてください。私は、十人の話を一度に聞くことができますから。

インタビュアー：そうなんですか？ それはすごい！では、さっそく質問します。まず、どんな国をつくりたかったのか、一言で教えてください。

聖徳太子：ずばり、 中心の国をつくりたかったのです。

インタビュアー：なるほど。そのために、どのようなことに取り組んだのですか？

聖徳太子：1つ目は、役人に、国のためにしっかりと働いてほしいと思い、役人の心構えを示しました。それが、<sup>じゆうしちじやう けんぽう</sup>十七条の憲法です。その中には、「 の命令には、必ず従いなさい」という言葉も入れましたよ。

インタビュアー：役人に、心構えをしっかりと示したのですね。他には、ありますか。

聖徳太子：進んだ政治のしくみや文化を取り入れようと、 らを<sup>ずい</sup>隋に行かせました。他の国から学ぶことは大切です。

インタビュアー：勉強熱心なのですね。聖徳太子さんは、実力があれば、だれでも活やくできるしくみをつくった、という情報もありますか？

聖徳太子：あなたも、よく勉強していますね。そのとおりです。それまでは、実力がなくても、家がらがよければ、役人の位が上になっていました。私は、それはおかしいと思い、<sup>かんい</sup>冠位十二階というしくみをつくって、家がらなどにとらわれず、実力があれば位が上がるようにしたのです。

インタビュアー：ありがとうございました。まだまだ、うかがいたいことがありましたが、時間になりました。これでインタビューを終わります。

a

b

〔社会〕小6 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

- 1 a
- 2 b
- 3 c
- 4 d

北方領土〔歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島〕の位置と名称（めいしょう）を正しく覚えましょう。

2

(1)

- 5 X
- 6 Y
- 7

県  
県

学習の中で出てきた都道府県の位置を地図帳で調べるなどして、47都道府県の位置と名称（めいしょう）をしっかりと覚えましょう。

(2)

(例)

3

8   
いしぼうちよう

4

- 9 a
- 10 b

弥生（やよい）時代には、湿地（しっち）を木のくわやすきで耕して水田をつくり、田げたをはいて水田に入って種もみをじかにまいたり、田植えをしたりしました。また、秋には石包丁（いしぼうちよう）で稲（いね）の穂（ほ）をかり取っていました。